

1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立早島支援学校	実践者名	平松 美緒
実践場面 (教科、領域、行事等)	家庭と学校をつなぐ遠隔運動会		
単元・題材名	「運動会だよ！全員集合！」		
学習目標・ねらい	担任以外の教師ともオンラインでつながることで、一体感を感じ、意欲的に活動に取り組むことができる。		
対象の児童 生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> 呼び掛けや言葉掛けに対して表情や声、足の動き等で応えることができる。表出も豊かで、慣れた教師との関わりやお気に入りの絵本の読み聞かせなどで笑顔になったり、体を動かして喜びを表現したりすることができる。 訪問教育部に所属しており、普段は家庭で教師と1対1で授業を行っているため、担任以外の教員との関わりは少ない。 		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
<p>○Meet を活用して学校と家庭を結び、遠隔運動会を実施 集団での運動会の代替活動として、家庭と学校とを Meet でつなぎ、遠隔での運動会を実施した。訪問教育を受けており、担任以外の教師と関わるのが少ないため、オンラインで学校とつながることにより、少しでも多くの人と関わり、運動会ならではの雰囲気を感じられるようにと計画された。</p> <p>当日は、画面の向こうの教師と一緒に、準備体操や綱引き・玉入れ等の活動を楽しんだ。画面の向こうから聞こえる大好きな教師の声に気付き、「どこ？」と探すような仕草をしたり、画面越しに名前を呼ばれることで相手を認識し、笑顔になったりする様子が見られた。</p> <p>また、普段とは異なり、活動中も複数の教師からの声援が聞こえてくるため、初めての活動にもやる気を出し、意欲的に取り組む様子が見られた。最後のメダル授与では、画面の向こうからもたくさんの拍手をもらい、嬉しそうにしている様子が印象的だった。</p>			
活用のポイント・改善策等			
<p>○直接は会えなくても、Meet を活用することで、色々な人と関わる事ができた。それが画面越しであっても、声で大好きな相手に気付き、出会いを喜んだり、たくさんの声援を受けることで意欲的に活動したりすることができた。</p> <p>○遠隔での綱引き等、動きがあったため、常に本人にとって見やすい位置に画面を持ってくるのに人手が必要だった。せつかく家庭に行って直接会っている教師が、終始カメラマンになってしまわないように事前に家庭の学習環境に合わせた固定具等を検討しておく必要があった。</p>			

